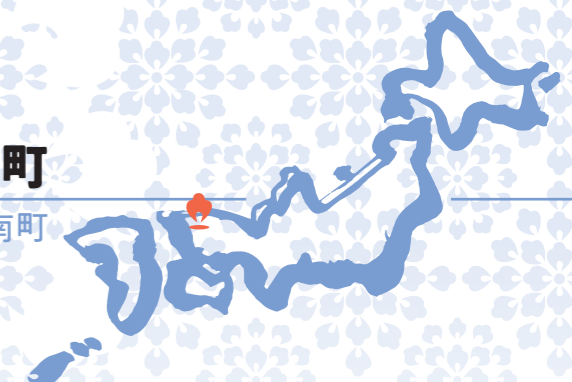


三江線鉄道公園

～鉄道遺産を活かした「まちづくり」・「インフラツーリズム」の取組～



1 社会資本の概要

2018年4月に廃線となった旧JR三江線の宇都井駅と口羽駅等の鉄道資産を、JR西日本から取得。2021年4月には安全対策を施した上で「三江線鉄道公園」として駅のホームなど一部を一般開放するとともに、公園の指定管理者であり、地元住民や町外の鉄道愛好家らで組織する特定非営利活動法人江の川鐵道が、公園施設を利用して、トロッコ型の車両を運行しています。

旧宇都井駅は「天空の駅」との愛称で、ホームの高さ20メートルにたどり着くのに116段の階段を登る特異な駅として鉄道ファンのみならず多くのインフラファンに親しまれています。口羽駅もローカル線の駅の風情を残したホーム、待合所などが揃っており、維持・保存・活用を通じて、地域の振興を目指しています。



運行最終日の宇都井駅の様子



三江線鉄道公園の様子



JRから譲り受けたトンネル

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

JR三江線の廃線決定後、特定非営利活動法人江の川鐵道の前身となる住民団体より、邑南町にJR鉄道資産の取得を求める声があり、町と協議を重ねながら維持管理体制を模索。資産の維持管理については邑南町と江の川鐵道が連携して行い、江の川鐵道のトロッコ運行等の収益を充てるなど経費を最小限に抑えながら維持していくことにしています。

また、トロッコの運行、宇都井駅を生かしたライトアップイベント「INAKAイルミ」の実施、枕木の交換などのイベントや維持管理活動は、町外の鉄道ファンら「関係人口」と呼ばれる支援者が参加するなど、過疎化が進む地域において交流、関係を深めながら持続的な維持管理につなげています。



口羽駅でのトロッコ運行



宇都井駅のライトアップ



枕木の交換作業

3 活動の成果や波及効果等

江の川鐵道は2018年に住民を中心に15人の正会員でスタートしましたが、現在108人の会員に増加し、地域を繰り返し訪れる関係人口の増加で地域に活力が生まれています。また、廃線跡の線路を使って運行しているトロッコに年間15日運行で500人が来場するなど観光振興につなげています。

宇都井駅の整備と合わせて近くにはカフェもオープンし、宇都井駅と共に利用されるなど、訪れる人もなかった過疎地の廃駅が、地域再生の象徴として認知されるようになりました。



口羽駅公園で楽しむ観光客



宇都井地区を訪れ芋掘り体験に参加する関係人口の皆さん



INAKAイルミに関わる住民と関係人口の皆さん



宇都井駅近くでできたカフェの店内

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
江の川鐵道
理事長
日高 弘之

コメント

廃線という地域にとって悲しい出来事を逆手に取って地域の活力につなげるために、地元有志と町外の鉄道ファンが手づくりで進めてきた事業で、非常に光栄です。これから、インフラを守り、活用していくことは時の経過と共に難しい面も出てくると思いますが、多くの共感を集める活動を通じて、持続的な取り組みにしていきたいと思っています。

活動の内容

- 三江線鉄道公園の維持管理
- トロッコ運行
- 三江線及び歴史を継承する事業
- イベント

活動の経歴

- 2017年 「三江線地域フォーラム」を設立
- 2018年 特定非営利活動法人江の川鐵道を設立
トロッコの運行開始
- 2019年 邑南町がJRから鉄道資産を取得
- 2021年 三江線鉄道公園開園
手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 島根県邑南町宇都井

活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人江の川鐵道
TEL:090-3221-5040

対象となる社会資本 旧JR三江線宇都井駅及び口羽駅等の鉄道資産

